

平成26年度第1回T-SPOD会議 議事概要

日 時： 平成26年10月22日（水） 14：55～16：15
場 所： 授業研究インテリジェントラボ（徳島大学大学開放実践センター3階）
出席者： 鳴門教育大学 谷本総務係長
四国大学・短期大学部 久我学部運営支援課係長，大恵総務課員
徳島文理大学・短期大学部 新見准教授
阿南工業高等専門学校 松本教授，天羽総務課長補佐
徳島大学 赤池教授（議長），川野教授，宮田准教授，吉田講師，
上岡特任研究員，沖津人事課課長補佐，
金治教育企画係長

会議開催に先立ち，出席者の自己紹介が行われた。

徳島工業短期大学の近藤理事長は，都合のため欠席であるが議事は議長に一任する旨の連絡があった旨の説明があった。

議 題

1. 徳島県内の連携について

議長から，議題1資料に基づき，例年のT-SPOD会議では主にSPOD事業についての審議・報告をしているが，今回は徳島県内加盟校の独自の活動について情報共有及び情報交換を行いたい旨の説明があり，事前に提出した「平成26年度のFD・SD活動の取組」により各校が説明し，種々意見交換を行った。

【主な取組内容について】

- ①質保証のためのワークショップを全学部学科・コース・専攻毎に行っている。（徳島大学）
- ②FD活動の全体会において，今年度初めてSPOD講師派遣を利用した。（鳴門教育大学）
- ③職員のスキルアップのため窓口対応の者や電話対応の者を中心に外国語研修を実施した。
今後マニュアルの整備を行いたい。（四国大学）
- ④防災教育講座を行っている。学生・教職員（学内）と地域住民（学外）への対応や棲み分けについては検討が必要である。（徳島文理大学）
- ⑤職員研修について，今後体系的に取り組んで行きたい。（徳島文理大学）
- ⑥阿南高専では平成26年度からシラバスに到達目標のルーブリックを掲載しており，全員参加の教員研修会において，このルーブリック改訂を実施した。（阿南工業高等専門学校）

【ミドルレベルのFDについて】

- ①FD担当者向けプログラム（カリキュラムマップ，ナンバリング，体系作り等）をSPODに提案してみたいが，加盟校のニーズがあるかどうか。（徳島大学）
- ②講演内容については，内容がミスマッチになることがあるので，事前に講師との打合せを行う等工夫をしている。（阿南工業高等専門学校）

【マクロレベルのFDについて】

①取組校なし。

【AP、CP、DPの見直しについて】

①DPを実現するための編成方針であるCPの確認・見直しを行うためカリキュラムマップ作りを行っている。(徳島大学)

②改組の段階で見直しを行うことになる。(鳴門教育大学)

③今の段階では予定等はない。(四国大学)

④今年度策定したばかりなので、暫く予定等はない。(徳島文理大学)

⑤APはあるが、CP、DPは似たものがある。(阿南工業高等専門学校)

【評判の良かった研修等及び受講者増加に関することについて】

①対学生に対する研修。(四国大学)

②TBL、ループリック、アクティブ・ラーニング等の新しい手法のもの。事前の広報が重要である。(徳島文理大学)

③TPは3年間で8割受講している。受講者が5割を超えるまでは案内や声かけ等を行い苦労したが、5割を超えた段階で口コミ等により集まる。(阿南工業高等専門学校)

【FDを教員業績に加えることについて】

①上限はあるが、研修に参加することで教育ポイントに加算され、研究費配分に反映される。(阿南工業高等専門学校)

2. その他
なし

報 告

1. 大学教育カンファレンス in 徳島について

議長から、報告1資料に基づき、12月26日(金)に徳島大学において、大学教育の質的向上に向けた努力の成果を確認するための「大学教育カンファレンス in 徳島」をSPOD(四国地区大学教職員能力開発ネットワーク)の研修プログラムの一環として開催することの説明があり、プログラムの中で「ラウンドテーブル」をT-SPOD各参加校の教員から、「学生、又は教員間で高い評価を受けた授業の実践」について話題提供(各15～20分)を行い、話題提供者間、及びフロアーを交えてディスカッションを行う予定としている旨の報告があった。

2. ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップについて

議長から、報告2資料に基づき、自身の授業を見直し、授業改善を行いたいと考えている教員に対し、平成27年3月5日(木)～6日(金)の2日間(定員8名)で開催する予定であるので是非参加してもらいたい旨の報告があった。

3. その他
なし

以上